

B 23

モアレ法による腰部の展開

日本女子大家政 樋口ゆき子

計算研 ○ 立花寿子 恒川久子

目的 モアレ法により腰部の展開を行い、得られた展開図についてその形状を検討する。

方法 人台を被写体として、モアレ写真を6方向から撮影し、6方向の写真を接続、1cm間隔の横断面を作成、腰部を数値化した。この数値をもとにして腰部の展開を下記の方法で行い、切り替えの位置を指定することにより、自動的に展開図を作図させた。

方法：(1)接線によるもの (2)実長によるもの

結果 方法(1)、(2)による自動展開図をプロッターで描かせることができた。右図は、45度ごとに切り替えを入れ、1cmの断面間隔で描かせたものである。切り替えの位置、断面間隔の違いによる形状の変化、方法による違いなどを検討した。

さらに、任意の縦断体型を得ることができた。

